

花みず木フェスティバル大盛況!

好天に恵まれた 4 月 29 日、兵庫島公園を中心に「第 30 回花みず木フェスティバル」が開催されました。フリーマーケットやイベント、ライブ演奏にダンス、美味しい屋台など GW の初日を飾るにふさわしいイベントでした。今回はその記録です。



<松原実行委員長の開会宣言>



<保坂区長も来場>



<鯉のぼりも気持ちよさそう>



<大盛況のフリマ>



<世田谷区民吹奏楽団>



<花みず木苗木チャリティープレゼント>



<花みず木の苗木>



<草花チャリティー競り市>



<輪投げ DE 防災クイズ>



<河川環境水防コーナー>



<美味しい山賊焼>



<多摩川の天然鮎!>



<伊勢原名物大山こま最中>



<味自慢! 商店街の焼きそば>



<絶品! パイ焼き窯の焼き菓子>



<カメとの触れ合い>



<スーパーボールすくい>



<お馴染み金魚すくい>



<区民吹奏楽団による綿あめとヨーヨーコーナー>



<会場に忽然と現れ来場者の度肝を抜いた目玉の怪物>



<消防隊員に変身するちびっ子と消防署コーナー>



<地震を体験できる起震車>



<玉川清掃事務所分別クイズ>



<多摩川の生態系を守るお魚ポスト>

*** いろはに乃サッチ#34「え」 ***

～得意に帆を揚ぐ～

「え」は、江戸では「得意に帆を揚ぐ」。これは、絶好の機会が到来し、それを利用してはりきって行動を起こすこと。京は「縁の下の力持ち」。これは、人の目につかないところで、他人のために支える苦労や努力をすること。また、そのような人。大阪は「閻魔の色事」。これは、調和がとれなくて、バランスの悪いことのとえ。えんまさんは、とても恐ろしくて、近寄れないような王さまなので、恋愛などとは、全く似合わないために このような句がうまれたようです。なるほど。



<会場に忽然と現れ来場者の度肝を抜いた目玉の怪物>

朝から夕方まで一日楽しめた花みず木フェスティバル
熱いライブステージは裏面へGo!ひろみ(笑)